

## 釜石市 松原町防災会

### 結成までの経緯

松原地区は、釜石湾に近いうえ急傾斜地の沢沿いに建っている家も多く、市内の他地域と比べて立地条件が決して優れているわけではない。

これらの条件から、火災のみならず地震、津波、土砂災害時の被害軽減を図るため、町内会を母体に平成9年1月18日に発足した。

### 組織形態

会長に町内会長があたり、副会長を補佐職として、情報班、消火班、救護救出班、避難誘導班、給食給水班の各班が統合されている。

(組織世帯数 252世帯)

(隊員数 582人) H16.1末現在

### 活動の概要

(1) 自主避難所の早期開設

早めの自主避難を励行するため、地元のコミュニティ消防センターを自主避難所として“雨が振る前、風が吹く前、暗くなる前”を目安に、自主的に早期開設している。

(2) 町内防災訓練の実施

年に1回、町内防災訓練を実施し、初期消火訓練、応急処置訓練等を行っている。

(3) 地域防災マニュアルの作成

各家庭を班分けした町内図と緊急時の連絡網等を記載した防災マニュアルを作成し、ソフトケースに入れて全戸配付した。

### 今後の活動

(1) 新規転入者や自治会、防災会に未加入者に対して、相互互助の必要性を理解してもらうよう働きかける。

(2) 防災会活動の充実を図るため、消防署等の関係機関との連携を強化する。

## - 松原町防災会 -

## 結成・活動のポイント

結成は平成9年であるが、活動の大きなポイントとなったのは、平成14年7月11日の台風6号豪雨により、土砂災害で町内から2名の尊い犠牲者が出たことによる。

同災害を教訓に、二度と悲劇を繰り返さないと、自主防災活動に一層、積極的に取り組むことで、会員の防災意識の高揚に努めている。

また、防災会会長が市消防団の団長経験者であることも、活動促進の大きな要因となっている。